

株式会社 カイシン建設

2024年度 環境経営レポート

(対象期間：2024年 1月～2024年 12月)

発行日：2025年2月10日

改定日：2025年6月22日



I. 環境経営方針

環境経営方針

〈基本理念〉

株式会社 カイシン建設は、自然・地域との共生を図り、当社の事業活動が地球環境に及ぼす影響を理解し、その重要性を認識し美しい地球を次世代に残せるよう全社一丸となって自主的・積極的に地球環境保全に取り組み、環境経営の改善を推進します。

〈行動指針〉

当社は、基本理念に基づき、建設業の事業活動を通じて次の項目に取り組みます。

- 1) 環境関連法規制及びその他要求事項を遵守します。
- 2) エコアクション21 環境経営システムを構築・運用し、経営における課題とチャンス定期的に明確にし、継続的な活動を行います。
- 3) 事業活動全般における環境負荷を削減するために次の活動に取り組みます。
 - (1) 二酸化炭素排出量削減
 - ・電気使用量削減、ガソリン使用量削減、軽油使用量削減、灯油使用量削減
 - (2) 廃棄物排出量削減
 - ・事務所における廃棄物の削減
 - ・建設現場における廃棄物削減とリサイクル率の向上
 - (3) 水使用量の削減
 - (4) 環境に配慮した施工の推進
- 4) この環境方針は全従業員に周知するとともに社外にも公開します。

2019年8月1日 制定

株式会社 カイシン建設

代表取締役 谷口 正士

Ⅱ.取組の対象・活動

取組の対象組織・活動

□組織の概要

(1) 名称及び代表者名

株式会社 カイシン建設
代表取締役社長 谷口 正士

(2) 所在地

本社 ・ 〒669-5241 兵庫県朝来市和田山町土田318-2

(注).2022年3月21日に本社は旧の和田山町土田42番地の1から記載の場所に移転。

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 谷口 愛美 TEL : 079-672-2854
担当者 谷口 愛美 FAX : 079-672-3763
Email : tgkskk@citrus.ocn.ne.jp

(4) 事業内容

土木工事業、建築工事業、舗装工事業、解体工事業、産業廃棄物収集運搬業

(5) 設立昭和44年 6月

(6) 資本20百万円

(7) 事業の規模

○建設業 年間売上高 181百万円 (2024年度)
○産業廃棄物収集運搬量 48.4トン (2024年度) (木くず)

	本社	資材置場	廃棄物置場	合計
従業員	10名	無人	無人	10名
延べ床面積	104㎡	150㎡	20㎡	274㎡
敷地面積	370㎡	150㎡	20㎡	540㎡

・車両・重機

区分	名称	台数	型式・性能
運搬車輛	2tダンプ	2	2t
	4tダンプ	2	4t
重機	バックホウ	1	0.08m ³
	バックホウ	1	0.2m ³
	バックホウ	1	0.45m ³
	ホイールローダー	1	0.8m ³

(8) 事業年度 1月～12月

(9) 産業廃棄物収集運搬業許可証

許可者	事業区分	許可番号	事業範囲	許可取得年月日	許可有効年月日
兵庫県知事	収集運搬業	2807166190	廃プラスチック、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず及び、陶磁器くず、がれき類	平成29年5月10日	令和9年5月9日

積替え・保管を含まない

□認証・登録の対象範囲

登録組織名： 株式会社 カイシン建設

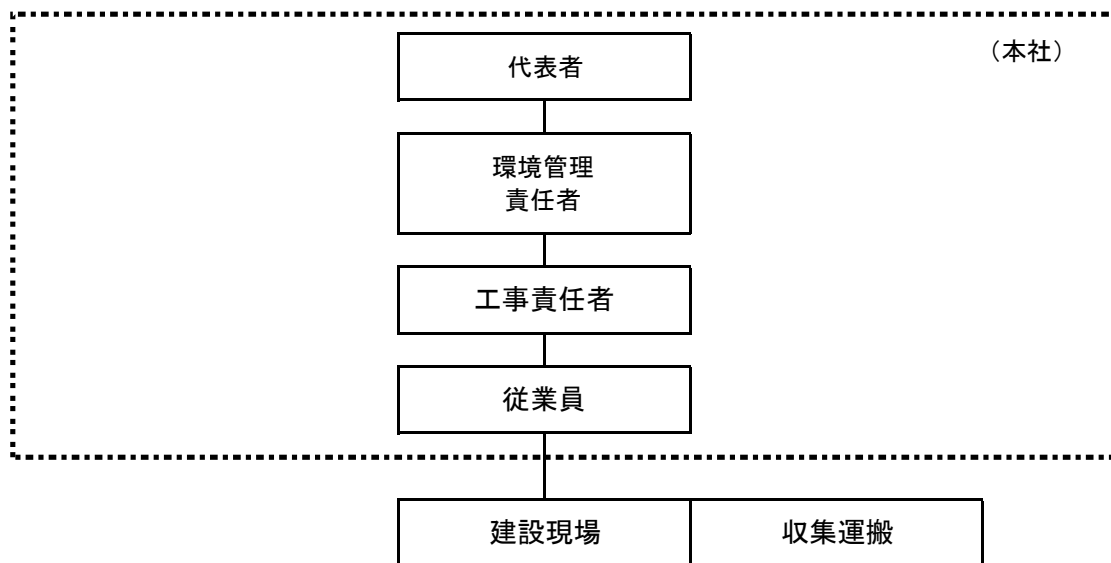
対象外事業所： 対象事業所

対象外： 無し

活動：土木工事業、建築工事業、舗装工事業、解体工事業、産業廃棄物収集運搬業

Ⅲ.取組体制及び役割・責任・権限

取組体制図



	役割・責任・権限
代表者(社長)	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営目標・環境経営活動計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直し・指示を実施 ・環境経営レポートの承認 ・経営における課題とチャンス の明確化
環境管理責任者	・環境経営レポートの作成 ・環境経営目標・環境経営活動計画書を確認 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・緊急事態対応手順のテスト、訓練の指導及び総括 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポート作成 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営活動計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規制等取りまとめ表の作成、遵守評価の実施 ・特定された項目の手順書作成(緊急事態への対応) ・環境経営活動レポートの作成、公開(事務所への備付けと地域事務局への送付) ・環境経営方針の周知 ・従業員に対する教育訓練の実施 ・特定された項目の運用管理 ・緊急事態対応手順のテスト、訓練を実施、記録の作成 ・問題の発見、是正、予防処置の実施
工事責任者	・建設現場における環境経営システムの実施 ・工事担当者及び協力会社員に対する教育訓練の実施 ・建設現場の環境経営活動計画の実施及び達成状況の報告 ・緊急事態対応訓練の実施、記録の作成 ・建設現場での問題点の発見、是正、予防措置の実施 ・収集運搬業務での問題点の発見、是正、予防措置の実施
従業員	・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

Ⅳ．主な環境負荷の実績

項 目	単位	2022年度 基準年度	2023年度 実績値	2024年度 実績値	
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	47,426	40,399	55,112	
電力使用量	kWh	2,587	4,429	4,840	
ガソリン使用量	L	6,460	6,962	7,148	
軽油使用量	L	12,007	8,864	14,350	
灯油使用量	L	264	0	0	
廃棄物排出量	t	204.5	188.6	264.4	
一般廃棄物	kg	51.1	14.3	70.3	
産業廃棄物	t	204.5	188.6	264.3	
水使用量	m ³	34	37	46	

Ⅴ．環境経営目標及びその実績

(1) 中期目標

年 度		2022年度 基準年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
項 目						
I. 二酸化炭素 排出量削減	kg-CO ₂ 対基準	47,426	46,478 △2%	46,003 △3%	45,529 △4%	45,055 △5%
電力使用量削減	kWh kg-CO ₂ 対基準	2,587 805	2,535 788 △2%	2,509 780 △3%	2,484 772 △4%	2,458 764 △5%
ガソリン 使用量削減	L kg-CO ₂ 対基準	6,460 14,986	6,330 14,686 △2%	6,266 14,537 △3%	6,201 14,387 △4%	6,137 14,237 △5%
軽油 使用量削減	L kg-CO ₂ 対基準	12,007 30,978	11,767 30,358 △2%	11,647 30,049 △3%	11,527 29,739 △4%	11,407 29,429 △5%
灯油 使用量削減	L kg-CO ₂ 対基準	264 657	259 644 △2%	256 638 △3%	253 631 △4%	251 624 △5%
Ⅱ. 廃棄物排出量						
一般廃棄物 削減	kg 対基準	51.1	50.0 △2%	49.5 △3%	49.0 △4%	48.5 △5%
産業廃棄物 削減	t 対基準	204.5	200.4 △2%	198.4 △3%	196.3 △4%	194.3 △5%
建設リサイクル率 の向上	% 対基準	99.1 —	99.1 —	99.1 —	99.1 —	99.1 —
Ⅲ. 水使用量 削減	m ³ 対基準	34	33 △2%	33 △3%	33 △4%	32 △5%
Ⅳ. 環境に配慮し た	件 対基準	注2) 3	3件 0	3件 0件	4件 1件	5件 2件

注1) 電力の二酸化炭素排出量への排出係数は、関西電力（株）2021年度実績値の調整後係数 0.311kg-CO₂/kWh を使用。

注2) 基準値は2019年実績

注3) 化学物質は、使用してない。

(2) 取組期間の実績

年度 項 目		2022年度 基準年度	取組期間における実績 (2024年1月～2024年12月)			
		基準値	目標	実績	達成度	評価
I. 二酸化炭素 排出量削減	kg-CO ₂ 対基準	47,426	46,478	55,112	84%	×
電力使用量削減	kWh kg-CO ₂ 対基準	2,587 805	2,535 788	4,840 1,505	52%	×
ガソリン 使用量削減	L kg-CO ₂ 対基準	6,460 14,986	6,330 14,686	7,148 16,583	89%	×
軽油 使用量削減	L kg-CO ₂ 対基準	12,007 30,978	11,767 30,358	14,350 37,023	82%	×
灯油 使用量削減	L kg-CO ₂ 対基準	264 657	259 644	0 0	∞	○
II. 廃棄物削減						
一般廃棄物 削減	kg 対基準	51.1	50.0	70.3	71%	×
産業廃棄物 削減	t 対基準	204.5	200.4	264.3	76%	×
建設リサイクル率 の向上	% 対基準	99.1	99.1	96.9	97.8%	△
III. 水使用量 削減	m ³ 対基準	34	33	46	72%	×
V. 環境に配慮し た施工推進	件 対基準	注3) 3	3	3	100%	○

注1) 達成度欄にて、削減を目指す場合は、達成度＝目標÷実績×100%、増加を目指す場合は、達成度＝実績÷目標×100%

注2) 評価欄にて、○：達成（100%以上）、△：やや未達成（95%～100%未満）、×：未達成（95%未満）

注3) 基準値は2019年実績

注4) 建設リサイクル＝中間処理量/産業廃棄物排出量＝256.08/264.33

VI. 環境経営計画及び取組結果とその評価、次年度の環境経営計画

◎よくできた ○まずまずできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	評価結果と次年度の環境経営計画
二酸化炭素排出量の削減 (目標未達成)		
(下記の通り)		(下記の通り)
電力使用量の削減 (目標未達成)		
・ 不要照明の消灯	◎	使用量が未達成 寒い日、猛暑で、エアコンの使用が増えていたため 温度の適正化を精査して、管理したい。
・ エアコン温度の適正化	○	
・ 設備の空運転禁止	○	
ガソリン使用量の削減 (目標未達成)		
・ 移動コースの効率化	△	基準に比べ多数の遠方工事現場への移動車両等の台 数 増加によりガソリンの使用量が増えた。 今後とも、燃料の削減に努力したい。
・ アイドリングストップ	○	
・ 空気圧、オイル等の点検	○	
軽油使用量の削減 (目標未達成)		
・ 重機の空ふかしの禁止	△	基準に比べ多数の遠方工事現場への移動車両等の台 数 増加により、軽油の使用量が増えた。 今後とも、燃料の削減に努力したい。
・ アイドリングストップ	○	
・ 空気圧、オイル等の点検	○	
灯油使用量の削減 (目標達成)		
・ 室内温度の適正化	-	灯油を使用していないことが多い為 達成状況が評価できない為。
・ 不在時点火の抑制	-	
一般廃棄物の削減 (目標未達成)		
・ ミスコピーの防止	△	年々検査書類が増え、コピーすることが多く、ミス コピーをしないように、裏紙の使用するようにす る。
・ 裏紙の使用	○	
産業廃棄物の削減 (目標未達成)		
・ 分別によるリサイクル推進	△	工事量が増え、混合廃棄物が増えた為、リサイクル 率が低下。今後、分別リサイクルを推進する。
建設リサイクル率の向上 (目標やや未達成)		
・ 分別によるリサイクル推進	○	仮設資材を修理することで、再利用できた。今 後とも、現在の活動を継続する。
・ 仮設資材の再利用の推進	○	
水使用量の削減 (目標未達成)		
・ 車輛洗車の節約	○	車両の洗車も控え節水の意識も高まり 無駄な水は、出さないようにした。 次年度も、意識の向上に努めたい。
・ 垂れ流し禁止	○	
・ 清掃時・手洗い時の節水	○	
環境に配慮した施工の推進 (目標達成)		
・ 工事分野別の技術・ノウハウ の収集	△	各種工事分野の環境配慮工法について調査を開始。 引き続き継続する。
三ム活動の推進 (ムリ・ムダ・ムラ)		

二酸化炭素排出量削減: 単位kg—CO₂



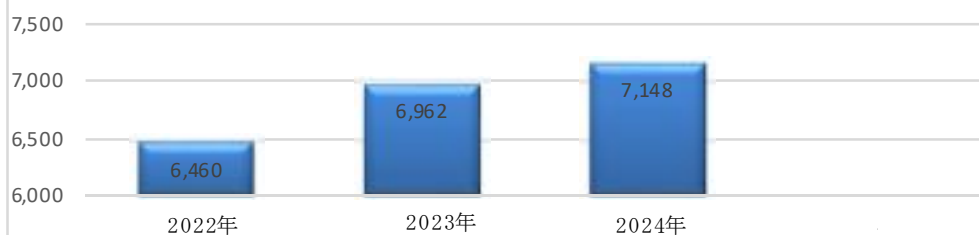
二酸化炭素排出量が
2022年から2023年は下がりつつ
るが、2024年度は上りつつある
ので、削減に努めるようにす
る。

電気使用量:単位kWh



2022年～2024年にか
けて、電気使用量が
上がる傾向にある為
電気使用量の削減に
努めたい。

ガソリン使用量:単位ℓ



ガソリン使用量が
2022年～2024年
にかけて上がっている

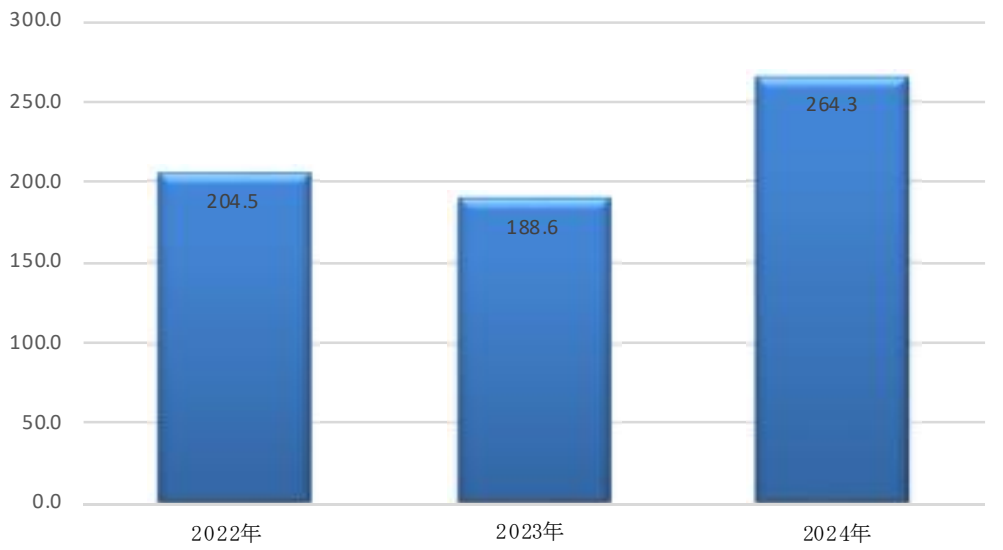
ガソリンの使用量
削減に努めたい。

軽油使用量:単位ℓ



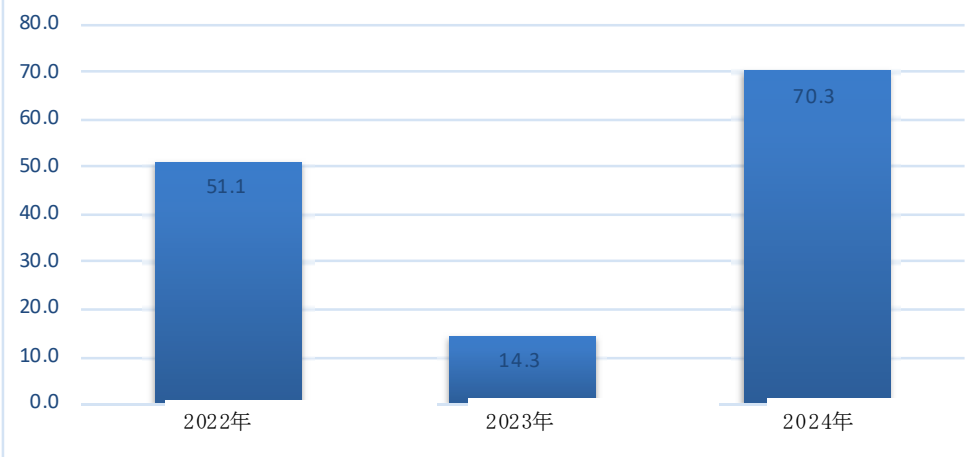
軽油の使用量
2023年に比べて
かなり増えている。
燃料の削減に努め
たい。

産業廃棄物：単位t



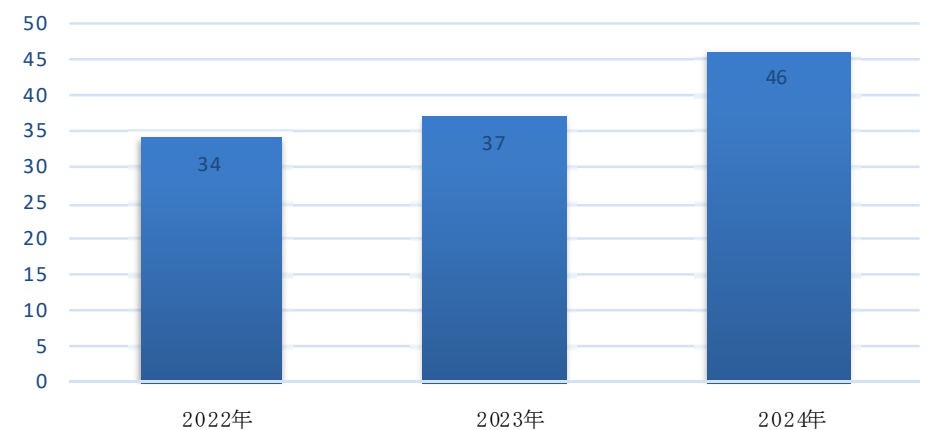
産業廃棄物も
2023年に比べて
増えている。
産業廃棄物の削減に
努めたい。

一般廃棄物：単位kg



一般廃棄物
2023年に比べて
かなり増えている
裏紙やコピーミス
を減らして
一般廃棄物の削減に
努めたい。

水使用量：単位m³



水道水使用量
2022年から少しずつ
増えてきている。
水道水使用量
削減に努めたい。

Ⅶ．環境関連法規等の遵守状況の評価の結果

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	遵守する事項	遵守評価
廃棄物処理法	保管基準の遵守、収集運搬・処分業者との適正な契約書の締結、マニフェストの交付・保存・確認・交付状況等報告書の	遵守
建設リサイクル法	建築物の分別解体義務、事前届出 特定建設資材廃棄物の再資源化義務	遵守
自動車NOx・PM法	規制対象車両の登録禁止 規制対象車両の指定地域通行禁止	遵守
騒音規制法	特定建設作業の届出 規制基準の遵守	遵守
振動規制法	特定建設作業の届出 規制基準の遵守	遵守
道路交通法	道路の使用届出 規制基準の遵守	遵守
消防法	消火器の点検	遵守
家電リサイクル法	特定家電製品4品目の適正な処分	遵守

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていることを確認しました。

また、関係当局からは、環境法規制等への違反、訴訟、環境上の苦情等も過去3年間ありませんで

Ⅷ．代表者による全体の評価と見直し・指示

当社は、自然環境を次世代に残すための取り組みの大切さを社員全員が認識し、エコアクション21に取り組む、現場や社内でも環境活動への理解が進んだ。
エコドライブなどの省エネについては、今後も一層努力をして行く必要があります。
また、3R(リデュース、リユース、リサイクル)などの無駄をなくす取り組みは、社内活動として定着して来ているので、今後は、更なる啓蒙活動を行い、全社員への徹底を図って行く必要があります。

今年度は、公共工事2件の現場が遠方でガソリン、軽油が増えてきてる。

極寒と猛暑で事務所エアコンの使用が増えてきてるので、ガソリン、軽油、電気量を減らしていく取り組みをしたい。

項目	見直し要否	見直し内容
環境経営方針	否	－
環境経営目標	否	－
環境経営計画	否	－
実施体制	否	－
その他	否	－

2025年 2月10日
代表取締役 谷口正士